

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 命と向き合っている子ども達と家族/大切な人を亡くした家族の居場所づくり |
| 事業主体 (連絡先) | 信州子どもホスピスプロジェクト 信州子どもホスピスプロジェクト事務局 090-5516-0723 |
| 事業区分 | (2)保健・医療・福祉の充実 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,123,730 円 (うち支援金: 756,000 円) |

事業内容

- ・ゆうきの会 (2022.12.17、2023.1.28): 大切な人を亡くした参加者が自身の経験や思いを語り共有/プロジェクトの進捗状況を説明/参加者からの疑問や悩みに答えた。
- ・信州子どもホスピスオンライン講演会(2022.7.9): 子どもホスピスのことや必要性やグリーフ (深い悲しみ・悲嘆) との向き合い方について、専門家の講演/質疑応答/意見交換を実施。
- ・チャリティライブ&トーク(2022.11.19): ホスピスの必要性を理解してもらい支援の輪を拡げていく為、松山三四六さんによる「チャリティライブ&トーク」実施。
- ・リーフレット作成: デジタルデバイスやデジタル媒体になじみが薄い方々など幅広い年齢層に子どもホスピスのことを知ってもらうために作成した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・事業開始後半年経過 (2022年10月時点) で各フォロワー数 Facebook=487人⇒542人、Twitter=30人⇒72人、Instagram=54人⇒230人
- ・事業開始後1年 (2023年2月末日時点) 各フォロワー数 Facebook=617人、Twitter=164人、Instagram: =340人と、信州子どもホスピスプロジェクトのSNSフォロワー数が大きく増えたことで支援の輪が広がった。更に、子どもホスピスのこと、子どもホスピスの必要性の周知に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、更に「信州子どもホスピス」の周知を拡げていき、信州子どもホスピス施設設立を目指していきます。また、市民参加型のイベント開催を行い、地域に根差した団体にしていきます。



【チャリティライブ&トーク様子】

【目標・ねらい】

- ①悲しみと向き合って生きていく一助となる
- ②信州子どもホスピスの周知
- ③ホスピス設立に向けた支援の輪を拡げる

※自己評価【 C 】

【理由】信州子どもホスピスプロジェクトのSNSフォロワー数が大きく増えたことで、団体の周知に繋がり、ホスピス設立に向けた支援の輪の広がりが見られたが、事業の一部が実施できなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある